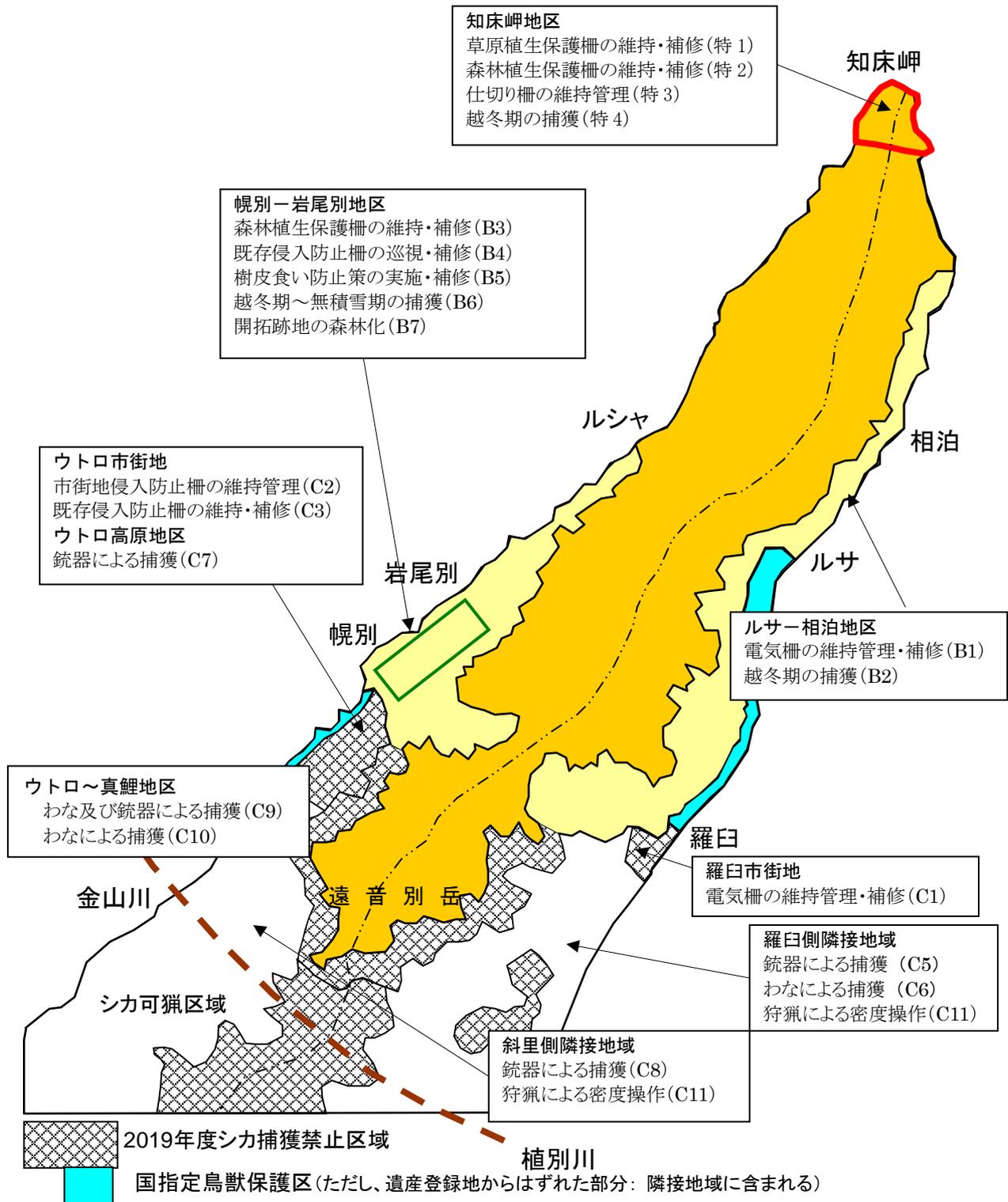


2019 シカ年度実行計画の実施結果
(確定版)

知床半島エゾシカ管理計画・地区区分図



2019シカ年度管理事業位置図



2019 (R1) シカ年度実行計画 (管理事業) 一覧

地区区分	管理目標	地区	管理手法	No.	管理事業	実施主体	実施時期	実施内容 (2020、2021年度は計画)					備考		
								2017	2018	2019	2020	2021			
								H29	H30	R01	R02	R03			
特定管理地区	・エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全・再生するとともに土壌浸食を防止。風衝地群落の植被率を回復。 ・エゾシカの密度5～10頭/km ² 以下。	知床岬	防御的手法	特1	草原植生保護柵の維持・補修	環境省	通年	○	○	○	○	○	エオルシ岬仕切り柵、アブラコ湾保護柵15m×15m、羅臼側高茎草本群落保護柵20m×20m		
				特2	森林植生保護柵の維持・補修	林野庁	通年	○	○	○	○	○	100m×100m保護柵		
			個体数調整 低密度状態を維持する手法の開発・検討	特3	仕切り柵の維持管理	環境省	夏～秋	○	○	○	○	○			
				特4	越冬期の捕獲	環境省	2-5月	○	○	○	○	○		銃器・くくりわな	
			モニタリング	シカ・植生	環境省・林野庁		○	○	○	○	○	○		※別表	
エゾシカ地区	動的な生態系を保全し、生物多様性を保全する。	高山帯	防御的手法	A1								※未実施			
			モニタリング			環境省		○	○	○	○	○	※別表		
		ルシャ	防御的手法	A2									※未実施		
			モニタリング			環境省・林野庁		○	○	○	○	○	※別表		
エゾシカB地区	・エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全する。 ・離農跡地での森林復元を促進。 ・エゾシカの密度5頭/km ² 以下。	ルサ-相泊	防御的手法	B1	電気柵の維持管理・補修	羅臼町・知床財団	春～秋	○	○	○	○	○			
			個体数調整	B2	越冬期の捕獲	環境省	12-4月	○	○	○	○	○	銃器・くくりわな・小型箱わな		
			モニタリング			環境省・林野庁		○	○	○	○	○	※別表		
		幌別-岩尾別	防御的手法	B3	森林植生保護柵の維持・補修	林野庁	通年	○	○	○	○	○	幌別80m×120m、岩尾別50m×200m		
				B4	既存侵入防止柵の巡視・補修	斜里町	通年	○	○	○	○	○	百m運動地内		
				B5	樹皮食い防止策の実施・補修	斜里町	春～秋	○	○	○	○	○	百m運動地内、単木保護800本		
			個体数調整 有効な捕獲手法について検討	B6	越冬期～無積雪期の捕獲	環境省	12-6月	○	○	○	○	○	銃器・大型囲い柵・小型箱わな・くくりわな		
			生息環境の改変	B7	開拓跡地の森林化	斜里町	春～秋	○	○	○	○	○	百m運動地内		
		モニタリング			環境省・林野庁・斜里		○	○	○	○	○	※別表			
		国立公園内	生息環境の改変	B8	道路法面牧草面積の拡大抑制	環境省		○	(事業なし)	○	○	○			
		隣接地域	・エゾシカの採食圧を軽減することにより、生物多様性を保全する。 ・地域住民とエゾシカの軋轢緩和を図る。	羅臼市街地	防御的手法	C1	電気柵の維持管理・補修	羅臼町・知床財団	春～秋	○	○	○	○	○	
ウトロ市街地	C2			市街地侵入防止柵の維持管理		斜里町	通年	○	○	○	○	○	市街地を囲む4.1km		
	C3			既存侵入防止柵の維持・補修		林野庁	通年	○	○	○	○	○	イチイ林木遺伝資源保存林		
春刈古丹	個体数調整 コミュニティベースの個体数調整を、必要に応じて支援			C4	わなによる捕獲	林野庁		○	○	○	○	○	○	囲いわな・小型箱わな	
羅臼町内				C5	銃器による捕獲	羅臼町		○	○	○	○	○	○		
羅臼町内				C6	わなによる捕獲	羅臼町		○	○	○	○	○	○	くくりわな	
ウトロ高原				C7	銃器による捕獲	斜里町		○	○	○	○	○	○		
斜里町内				C8	銃器による捕獲	斜里町		○	○	○	○	○	○		
ウトロ～真鯉				C9	わな及び銃器による捕獲	林野庁		○	○	○	○	○	○	○	囲いわな・小型箱わな・くくりわな
				C10	わなによる捕獲	斜里町		○	○	○	○	○	○	○	小型箱わな
全域				C11	狩猟による密度操作	北海道		○	○	○	○	○	○	○	
全域	モニタリング			環境省・林野庁		○	○	○	○	○	○	※別表			

※水色は予定通り実施、オレンジ色は数量・実施年に変更あり

2019 (R1) シカ年度実行計画 (モニタリング調査) 一覧

評価項目	実施主体	モニタリング項目	No.	実施内容 (2020、2021年度は計画)										
				植生タイプ または 調査方法	調査地	実施 時期	2017 H29	2018 H30	2019 R01	2020 R02	2021 R03	基本方針等		
植生	環境省	簡易的な手法による指標種の回復量調査	V01	草原・森林	知床岬	8月	○	○	○	○	○	毎年 (ルシヤは他の調査機会に合わせて実施)		
				草原	ルサ-相泊		○	○	○	○				
				草原・森林	幌別-岩尾別		○	○	○	○				
				草原・森林	ルシヤ		○		○					
	林野庁	植生影響調査 (森林植生、草原植生)	V02	森林	知床岬	8-9月	○		△林床		△林床	林床・稚樹・下枝は隔年、毎木は6年間隔		
					ルサ-相泊			○		△林床				
					幌別-岩尾別		○		△林床		△林床			
	環境省	同上	V03	草原	知床岬	8月		○		○		知床岬は隔年、幌別は5年程度		
					幌別					○				
					ルシヤ		○			○				
	林野庁	植生保護柵を用いた回復過程調査 (森林植生、草原植生)	V04	森林	知床岬	8-9月	○		△林床		△林床	林床・稚樹・下枝は隔年、毎木は6年間隔		
幌別					○			△林床		△林床				
斜里町	同上	V05	同上	幌別-岩尾別	8月	○	○	○	○	○	100平米運動地各種侵入防止柵内外			
環境省				V06		草原	知床岬	8月		○			○	隔年程度
環境省	エゾシカ採食量と回復量の短期的な調査	V07	草原	知床岬	8月10月	(終了)					イネ科草本の回復が見られるまで毎年			
				ルサ-相泊		ルサ	(終了)							
環境省	同上	同上	同上	幌別-岩尾別	同上	○	○	○	(終了)		同上			
				ルシヤ		○								
広域調査	林野庁	植生影響調査 (森林植生)	V08	森林	全域 (数字はV02含む)	8-9月	林9区環4区	林19区環2区	林9区環0区	林21区環1区	林22区環3区	5年間隔		
	環境省	植生影響調査 (海岸植生)	V09	海岸	羅臼側 斜里側 V03含む	8月				○		5年間隔程度		
	環境省	植生影響調査 (高山植生)	V10	高山	全域	8月	遠音別岳2区	連山5区	羅臼湖5区	知床岳2区		5年間隔程度		
	環境省	シトロコスミレ調査	V11	高山	硫黄山	7-9月	○	○	○	○	○	当面は毎年モニタリング		
エゾシカ個体数・個体数指数	詳細調査	エゾシカ主要越冬地におけるカウント調査 (シカ生息動向調査)	D01	航空カウント	知床岬	2-3月	○	○	○	○	○	旋回撮影		
				D02	ライトセンサス・日中センサス	ルサ-相泊	春、秋	○	○	○	○	○	調査距離10.2km	
						幌別-岩尾別	春、秋	○	○	○	○	○	調査距離9.3km	
						ウトロ~真鯉	12-4月	○	○	○	○	○	日中、調査距離約12km	
						羅臼町峯浜	10月	○	○	○	○	○	調査距離約10km	
	D03	カメラトラップ調査	真鯉、春刈古丹	6-7月、9-10月	○	○	○	○	○	3~4キロの範囲内に6台				
	広域調査	エゾシカ越冬群の広域航空カウント (越冬群分布調査)	D04	死亡個体計測	知床岬		(自然死亡の把握困難のため当面未実施)							
					ルサ-相泊	冬~春	○	○	○	○	○			
					幌別-岩尾別	冬~春	○	○	○	○	○			
					ルサ~峯浜	冬~春	○	○	○	○	○			
					ウトロ~真鯉	冬~春	○	○	○	○	○			
環境省					エゾシカ越冬群の広域航空カウント (越冬群分布調査)	D05	航空カウント	全域	2-3月	遺産地域内	遺産地域内	遺産地域内	全域	遺産地域内
環境省	越冬地エゾシカ実数調査	D06	追い出しカウント											
環境省	エゾシカ季節移動調査	D07	電波発信器調査		通年	ルシヤ								
土壌浸食	詳細	環境省	土壌浸食状況調査	E01	(草原)	知床岬	8月	○				5年間隔程度		
	広域	環境省 林野庁	土壌浸食状況広域調査	E02	森林	全域	8-9月	V07に併せて実施					5年間隔程度	
生態系への影響	詳細調査	環境省	陸上無脊椎動物 (主に昆虫) の生息状況調査	B01	草原・森林	知床岬	8月			訪花				
						ルサ-相泊				訪花・地表性				
						幌別-岩尾別				訪花・地表性				
						半島基部				訪花・地表性				
環境省	陸生鳥類生息状況調査	B02	草原・森林	知床岬	7月8月			○						
				幌別-岩尾別				○						

※水色は予定通り実施、オレンジ色は数量・実施年に変更あり